

施設
ピーマン

志布志市 渡邊 嵩央(42歳) & 真理華さん(47歳)

海のある所に移住したいと思い、群馬県からターンしてピーマン農家を目指す！

研修先

(公財) 志布志市農業公社松山事業所

所在地及び連絡先

志布志市松山町泰野379 電話：099-487-8239

<研修作物>
ピーマン



<新規就農を志した経緯・背景>

- ・群馬県内で飲食業を経営していたが、夫婦で海にある地域に移住したいと考える中、首都圏で開催された移住イベント先で鹿児島県の東京事務所から移住先と志布志市農業公社を紹介していただいた。
- ・移住前に公社による体験学習等に参加し、手厚いサポート支援があることと何か新しいものに挑戦したいという気持ちから就農を決めた。

支援策の活用例

- ・現在研修2年目であるが、当初から国の就農準備資金を活用している。(2年間)

これまで苦労した点

- ・1年1作なので大きな失敗が許されないこと。
- ・ハウス内の作業は暑いため体力が必要なこと。
- ・移住時志布志地区に居住していたが、研修場(就農地)が松山地区にあるため通勤に便利な松山地区へ転居しなければならなかったこと。

研修して良かった点

- ・公社、JA、ピーマン部会等による手厚い指導、支援を受けられていること。
- ・公社関係先の農家や研修仲間の間でコミュニケーションがよくとれており、地域の行事等にも参加しやすく移住者として孤独感がなく安心感が得られていること。
- ・研修期間だけでなく就農以降のサポート体制が充実しているところ。

就農に向けた今後の目標 (現在)

【研修期間】(令和5年7月～令和7年6月)

- ・ピーマン栽培に関する一連の生産技術の習得。(IPM栽培技術等)
- ・初年度は、指導員によるマンツーマン指導があり、今年度は一般農家と同様独立経営方式による研修を実施中。

【就農後】(令和7年7月～)

- ・農地を取得後ハウス2棟(30a規模)建設予定。(防災減災事業の活用見込み)
- ・JAへ出荷し、部会平均14トン/10a以上を目標。

就農を目指す方へのアドバイス

- ・農業に興味がある者は、積極的に挑戦してほしい。
- ・就農について関係者へ相談するとともに、支援内容を十分理解したうえで適切な研修施設を選択して技術の習得、地域との交流に努めてほしい。